

*クリティカルパス名 大腿骨頸部骨折クリティカルパス(右・左)


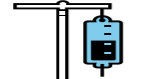

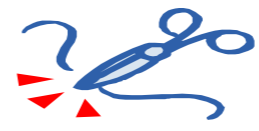




*入院時病名 _____

患者氏名 _____

*担当医 _____

*かかりつけ医 (いる(クリニック名) _____)

____年 ____月 ____日 入院

項目	(/)	(/)	(/)	(/)	(/ ~ /)	(/ ~ /)
	手術前日	手術当日	1病日	2病日	3~10病日	11~14日目(転出予定日)
目標	不安なく手術が受けられる	不安なく手術が受けられる	術後合併症を起こさずに順調に回復できる ・痛みなく経過できる ・褥瘡ができない ・転倒・転落がない		術後合併症を起こさずに順調に回復できる ・痛みなく経過できる ・転倒・転落がない ・状態が安定し日常生活動作が広がる	
投薬		◇麻酔科医師の指示で、持参されている薬を飲んでいただく場合がありますその時は看護師が声掛けします	◇持参された薬は朝から飲みます(医師の指示により、術後飲めない薬もあります) ◇手術前から中止していた薬があれば、医師に確認してから術後に再開します ◇術後、痛みの状態に合わせて痛み止めを使用します ◇術後2病日目に傷の確認をし血栓予防のお薬を10日間内服します(傷の状態内で内服しないこともあります)			
注射	◇午後9時から点滴を開始します 	◇点滴があります ◇術後痛みの状態に合わせて痛み止めを使います	◇術後1病日まで点滴があります ◇手術中または術後に輸血を行う場合があります			
処置	◇医師の指示あるまで弾性ストッキングと機械は指示があるまで継続してつけています ◇陰部の除毛をします ◇医師の指示がある場合には浣腸をします	◇手術室に入る前に手術する足の消毒をします 	◇術後病棟で傷の処置があります(医師が行います) ◇1~2病日までにドレーンが入ることがあります	◇傷の処置を行います 	◇術後7・9日目に傷の状態を医師が確認確認します(傷から染み出しがある時は毎日傷の状態をみます)9日目には抜糸します ◇術後10日目に抜糸した傷を確認します	
検査		◇手術後に心電図をつけます(翌日午前中まで)	◇下肢の超音波検査があります ◇血液検査があります		◇術後4、7、11日目に採血、検尿の検査があります(9時頃) ◇術後7日目にレントゲン撮影があります	◇術後14日目にレントゲン撮影があります
食事(栄養)	◇21時以降は絶食水となります	◇絶食水となります 	◇術後病棟で医師の診察があります			
指導説明	◇麻酔科医師の診察があります ◇医師より手術の説明があります ◇同意書の確認をします ◇手術に必要な物品の説明・確認をします ◇不安なことがあれば看護師に声を掛けて下さい	◇手術中、ご家族の方は家族控室と病棟でお待ち下さい(※術後病棟へ1泊されるかたは手術終了の連絡があるまではどなたかおひとり必ず控室でお待ち下さい) ◇手術終了後、術後病棟に1泊になる場合と病棟にもどる場合があります ◇手術終了後術後病棟で面会となります	◇術後病棟に1泊されたかたは術後の経過に問題なければ元の病棟に11時頃もどります 			◇主治医の指示で回復期へ移動することがあります
看護(清潔排泄観察等)	◇毛を剃った後に入浴して下さい 	◇術後より脱臼防止のため股に枕を挟みます枕は退院するまで継続して挟みます	◇毎日、身体を拭きます(足の洗浄やシャンプーは適宜行います) ◇手術後、傷の状態、痛みの程度、合併症の症状などの観察を行います ◇傷が防水タイプのテープになればシャワーに入れます。状態に応じて看護師がシャワーの介助をします ◇一人で動けるようになるまでは、看護師がトイレのお手伝いをします(初回はリハビリと一緒にいきます) ◇車椅子に乗ることが出来るようになったら尿道の管を抜きます			
リハビリ	◇リハビリをしていきます		◇リハビリで、状態に合わせて日常生活動作の訓練をしていきます			
安静度	◇ベッド上安静となります	◇ベッドで手術室に行きます ◇手術後はベット上安静となります	◇手術後の血栓予防のため足首を動かしましょう	◇手術後の血栓予防のために足首を動かしましょう ◇リハビリでの動きの状態に応じて安静度も変わっていきます		
診察予約						

患者様またはご家族様

担当看護師

竹田総合病院 整形外科 2020年 5月 作成